



# 二俣川小だより

2月号 ~笑顔いっぱい 友達いっぱい

横浜市立二俣川小学校 令和5年1月27日



## 4月からは？期待と不安

校長 泉 太郎

令和5年も早1か月が過ぎようとしています。冬季休業前は80名を超える子どもたちが感染症やインフルエンザ・風邪症状等で欠席をし、休業中も休業明けの状況が心配していましたが、現在は欠席の状況も落ち着いています。1月20日には、岸田首相から新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを季節性インフルエンザと同等の「5類」に移行するよう準備指示が出されました。4月の移行を目指しているとのことですが、マスクの着用等、感染症対策を含め、4月には大きな変化があることが予想されます。学校としてもコロナ前の状況に戻ることは歓迎すべきことですが、子どもたちを取り巻く実際の状況に合わせ安心・安全を第一に教育活動を進めていきたいと考えます。



## 書初め展の作品から感じる子どもたちの成長

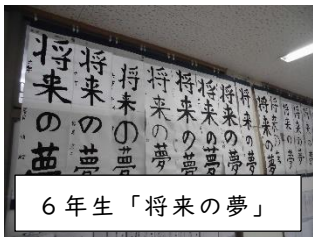
冬休みが明け、各学年で書初めに取り組みました。1・2年生は教室で硬筆に、3年生から6年生は体育館で毛筆に取り組みました。書いた作品を授業参観に合わせ各教室前の廊下に展示しましたが、廊下を歩きながら見ていると、一つ一つの作品から子どもたちの成長を感じることができます。1年生は小学校に入学し初めて



2年生「新しい年」



4年生「明るい心」



6年生「将来の夢」

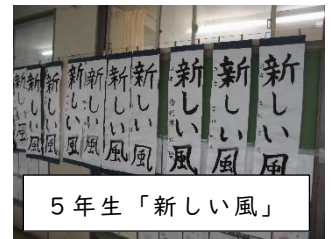
習ったひらがなや漢字を使って「ふじ山」を、2年生は同じ硬筆でも画数が多くバランスがとりにくい漢字が入った「新しい年」を丁寧に書いていました。3年生は毛筆を使っての初めての書初めで苦労の跡が見られましたが、「友だち」を半紙いっぱい大きく書いていました。4年生は毛筆の扱いにもだいぶ慣れ、大きくバランスよく「明るい心」を書いていました。5年生の「新しい風」は、画数も多くバランスをとることが難しい漢字でしたが、力強く書いていました。6年生は「将来の夢」に取り組みました。どれも難しい字ですが、一字一字の字形や全体のバランスをしっかり整えながら毛筆の総まとめとして立派に表現することができていました。書初めの作品一つからも子どもたち一人ひとりの成長や学年としての成長を感じることができ、温かくうれしい気持ちになりました。



1年生「ふじ山」



3年生「友だち」



5年生「新しい風」



5組

とりの成長や学年としての成長を感じることができ、温かくうれしい気持ちになりました。

令和4年度も2月・3月と残り2か月となりました。6年生は3月17日の卒業式に向け、1年生から5年生は3月24日の修了式に向け、さらに一人ひとりが成長していけるよう教職員一体となり子どもたちを支援していきたいと思ひます。